

各 位

松原 豊 写真集
村の記憶

発刊のご案内

このたび弊舎より、松原豊氏の処女写真集「村の記憶」を出版することになりました。
出版不況が叫ばれ、デジタル全盛の時代に、4×5インチの大判モノクロフィルムで全カット撮影、著者自らが現像した見応えのある作品集となっております。

つきましては、貴誌（紙）・番組にてご紹介いただければ幸いです。

平成23年6月1日



月兎舎

〒516-0002 三重県伊勢市馬瀬町638-3 TEL 0596-35-0556 FAX 0596-35-0566

<http://www.i-nagi.com> Email: usagi@i-nagi.com

発刊の経緯と目的

2006年春、平成の大合併により、三重県に69あった自治体は29に集約され、9つあった村は地図上から消えました。行政区分が変わったからと言って、環境や生活がすぐ変わるわけではありませんが、長い間受け継がれてきた「村社会」の名残が失われることで、大切な絆まで無くなってしまふ危機感を覚えた著者は、旧村部の風景や暮らし、年中行事などを4×5インチの大判カメラで撮影。ローカル季刊誌「NAGI」に、「村の記憶」というタイトルで発表（2006年夏号～2007年冬号）しました。

著者は連載終了後も、旧村部を中心に、古き良き村社会の残り香を求めて県下各地を撮影しつづけ、2010年春、三重県立美術館県民ギャラリーで個展を開催。これらの作品を再編集して、本書が発刊されました。

高齢者にとっては懐かしく、若者や都会育ちの人にとってはエキゾチックなモノクロ写真は、見る人にノスタルジーを喚起するのみならず、便利でシステムチックな現代の暮らしを見つめ直すきっかけにもなるはずです。

平成大合併前の三重県

旧村部を中心に風景や人物、
年中行事などを撮影。



著者略歴

松原 豊 (まつばら・ゆたか)

1967年三重県生まれ。三重県津市（旧美里村）在住写真家。東京写真専門学校名古屋校（現名古屋ビジュアルアーツ）卒業後、アシスタントを経て独立。ローカル誌NAGI、kalasなど地域誌の撮影に携わるかたわら、大判カメラで「村の記憶」を撮る。2010年、写真展「村の記憶」を三重県立美術館県民ギャラリー、三重県多気町立勢和図書館で開催。名古屋ビジュアルアーツ非常勤講師。（社）日本写真家協会会員。

本書の概要

- 書名 「村の記憶」松原 豊写真集
- 発行 2011年6月1日（写真の日）
- 定価 3,675円（3,500円＋税）
- 装丁 A4変型判 120ページ オールモノクロ
- 図版 89点（全て4×5インチフィルムで撮影）
- 発行所 月兎舎（げつとしゃ） 発行人／吉川和之
- 販売 三重県下の主要書店か発行元へ（むらきおcafe会場でも販売）

出版記念写真展「むらきおcafe」開催

三重県下の古民家カフェでの巡回展（○印）

- 6月5日～30日 ゆるり（四日市）TEL059-364-7765
- 7月7日～31日 葉乃穂（松阪）TEL0598-56-6757
- 8月1日～31日 カフェヒビコレ（津）TEL080-3684-4077
- 9月1日～30日 天満荘（尾鷲）TEL0597-22-7880
- 7月1日～9月30日 美里ふるさと資料館（津）
- 秋にニコンサロン東京・大阪で個展開催予定

問い合わせ先 表紙・作品のデジタル画像が必要な場合はお申し付け下さい。

著者 オフィス369番地／松原豊 〒514-2113津市美里町三郷369
TEL&FAX059-279-3703 <http://www.murakio.com>

発行元 月兎舎／吉川和之 〒516-0002伊勢市馬瀬町638-3
TEL0596-35-0556 FAX0596-35-0566 <http://www.i-nagi.com>